

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	01	124010	非核平和推進事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3	127		124
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3	127		124

特定財源の内訳					
事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～

部重点施策における目標	
青少年の社会教育	

事業開始の背景・経緯	
	非核平和都市宣言を平成18年3月に議決し、その考え方を普及するため、非核平和学習会等の事業を展開している。

事業概要	
	○非核平和学習会の開催 82千円 新型コロナウイルス感染症の影響により小学生の広島派遣を中止した。 代替事業として、広島平和記念資料館の講師による非核平和に関する講座と、花巻市博物館学芸調査員による花巻空襲に関する講座を市内小学5・6年生27名に対して行った。
	○非核平和学習会感想文集の発行 41千円 非核平和学習会の代替事業の感想文集を発行 1,480部発行
	○平和教室等の開催 4千円 小学校において平和教室（非核平和講話、平和DVD上映会）を開催したほか、非核平和展を開催 平和教室1回開催（合計17人参加） 非核平和展（平和ポスター展）を大迫図書館、石鳥谷図書館及び東和図書館において5日間開催（期間中の各図書館入館者数合計1,108人）

担当部署	03150000 総合政策部 総務	担当課長	瀬川 文彦
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況	
-----------	--

事業手法の詳細1	
	1 非核平和学習会の開催 82千円 <概要> 8月5日・6日の2日間、市内小学校5・6年生の児童9名を被爆地広島市に派遣し、戦争の恐ろしさを自らの肌で感じる機会として非核平和学習会を計画していたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。 上記事業の代替事業として、広島平和記念資料館の講師による非核平和に関する講座と、花巻市博物館学芸調査員による花巻空襲に関する講座を、8月7日に花巻市博物館において市内小学5・6年生27名に対して行った。 <経費> 7節 講師報償費 非核平和学習会講師謝礼 12,000円 8節 費用弁償 非核平和学習会講師 68,380円 18節 平和首長会議負担金 2,000円 （核兵器廃絶と恒久平和の確立に取り組む平和首長会議の事業趣旨に賛同し、メンバーシップ納付金を負担）
	2 非核平和学習会感想文集の発行 41千円 <概要> 非核平和の普及啓発として非核平和学習会の代替事業に参加した小学生の感想文集を発行し、市内小学校5年生及び6年生に配布した。（1,480部発行） <経費> 11節 印刷製本費 非核平和学習会感想文集 @25円×1,480部×1.1=40,700円
	3 平和教室等の開催 4千円 <概要> 非核平和に対する意識を醸成するため、笹間第一小学校において平和教室を開催した。 また、大迫図書館、石鳥谷図書館及び東和図書館において非核平和展（平和ポスター展）を開催した。 <経費> 7節 講師報償費 非核平和講話講師謝礼 @2,750円×1回=2,750円 11節 通信運搬費 平和DVD上映会に使用するDVDを借用した際の郵送料 1,091円 <平和教室の開催実績> H26年度2回（湯口中、太田小） H27年度1回（新堀小） H28年度1回（新堀小） H29年度1回（新堀小） H30年度1回（新堀小） H31年度1回（新堀小） R2年度7回（花巻北中学校、西南中学校、花巻学童クラブ、花北地区コミュニティ会議、笹間地区コミュニティ会議、成島振興地区コミュニティ会議（2回開催）） R3年度1回（湯本学童クラブ） R4年度1回（笹間第一小学校）

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	02	04	134660	少年センター運営事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,157	3,546		389
財源 内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,157	3,546		389

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	～
------	---	-------	------	---

部重点施策における目標
青少年の非行を防止する

事業開始の背景・経緯
青少年を取り巻く環境の浄化を図り、健全な青少年を育む。

事業概要
○少年補導委員による街頭補導活動 3,546千円 ○青少年問題協議会の開催 0千円

担当部署	15200000 市民生活部 市民相談	担当課長	坊澤 尚行
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1																														
<p>◎少年の非行を防止するため、街頭補導活動等を行い、青少年を取り巻く環境の浄化を図る。</p> <p>○少年補導委員 ・36班（1班3名前後）の編成にて街頭補導活動 ・街頭（駅、公園、ゲームセンター、大型店舗等）を巡回、必要により声かけ、補導を実施 ・活動は1班、月1回程度 ・任期は2年（R2.4.1委嘱）、学校や地域からの推薦者等を委嘱 ・委員数 88人（内訳：教員34人、地域推薦46人、市職員等8人） （地区別：花巻58人、大迫7人、石鳥谷16人、東和7人）</p> <p>○主任少年補導委員 ・主任少年補導委員（会計年度任用職員）を置き、少年補導委員の活動に関する事務を総括</p> <p>○岩手県少年センター連絡協議会 ・県内の少年センターを設置する自治体で構成する当協議会に加入 ・各種研修会への参加や情報交換を実施</p> <p>○事業費</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>R4年度</td> <td>内訳（増減要因）</td> </tr> <tr> <td>1節 報酬</td> <td>1,908</td> <td>主任少年補導委員、青年問題協議会委員</td> </tr> <tr> <td>3節 職員手当</td> <td>167</td> <td>主任少年補導委員期末手当</td> </tr> <tr> <td>4節 共済費</td> <td>323</td> <td>主任少年補導委員共済費</td> </tr> <tr> <td>7節 報償費</td> <td>905</td> <td>少年補導委員</td> </tr> <tr> <td>8節 旅費</td> <td>34</td> <td>費用弁償、主任少年補導委員通勤手当</td> </tr> <tr> <td>10節 需用費</td> <td>133</td> <td>消耗品</td> </tr> <tr> <td>11節 手数料</td> <td>69</td> <td>郵便料、補償保険料</td> </tr> <tr> <td>18節 負担金</td> <td>7</td> <td>岩手県少年センター連絡協議会負担金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,546</td> <td></td> </tr> </table>		R4年度	内訳（増減要因）	1節 報酬	1,908	主任少年補導委員、青年問題協議会委員	3節 職員手当	167	主任少年補導委員期末手当	4節 共済費	323	主任少年補導委員共済費	7節 報償費	905	少年補導委員	8節 旅費	34	費用弁償、主任少年補導委員通勤手当	10節 需用費	133	消耗品	11節 手数料	69	郵便料、補償保険料	18節 負担金	7	岩手県少年センター連絡協議会負担金	計	3,546	
	R4年度	内訳（増減要因）																												
1節 報酬	1,908	主任少年補導委員、青年問題協議会委員																												
3節 職員手当	167	主任少年補導委員期末手当																												
4節 共済費	323	主任少年補導委員共済費																												
7節 報償費	905	少年補導委員																												
8節 旅費	34	費用弁償、主任少年補導委員通勤手当																												
10節 需用費	133	消耗品																												
11節 手数料	69	郵便料、補償保険料																												
18節 負担金	7	岩手県少年センター連絡協議会負担金																												
計	3,546																													

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	01	104350	青少年活動推進事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		2,632	1,974		-658
財源 内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	2,632	1,974		-658

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	~
------	---	-------	------	---

部重点施策における目標

生涯学習の推進

事業開始の背景・経緯
 青少年の育成環境を向上させるとともに、仲間づくりや郷土についての理解を深め、児童・生徒・青少年の「ひとづくり」を推奨する。

事業概要
 ○はなまき！おもしろ探検隊開催 7回 96千円
 ○青少年関係団体支援
 ・青少年関係団体（3団体）への補助 229千円
 ○20歳のつどい開催 1,434千円
 ・式典の部（市主催）、記念行事の部（20歳のつどい記念行事実行委員会主催）
 ○共通経費 215千円

担当部署	18100000 生涯学習部 生涯学習	担当課長	梅原 奈美
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 青少年活動推進事業費 1,974千円（前年度比 △658千円）
- 「はなまき！おもしろ探検隊」 96千円（前年度比△3千円）
 市内小学校を対象に学区を越えた交流と花巻の魅力ある地域資源を活用した体験や遊びを通じて、郷土を愛する心を育む。
 6月～10月 全7回（仕事体験、キャンプ、国際文化体験など）
 - 青少年関係団体への補助 229千円（前年度比+44千円）
 負担金補助及び交付金（青少年関係団体への活動支援）
 ・ガールスカウト 30千円
 ・少年少女発明クラブ 150千円
 ・花巻市青少年育成市民会議【石鳥谷】 49千円
 - 20歳のつどい 1,434千円（前年度比△700千円）
 - 共通経費 215千円（前年度比+1千円）